

八彩票發行要綱ニ關スル件

617

REEL No. A-0284

0356

アジア歴史資料センター

首題ノ件ニ關シ別紙甲號寫ノ通華北連絡部長官ヨリ申越有之別紙乙號
寫ノ通通牒致置候條御参考迄及送付候也

(別紙甲號ハ興華北連絡一第六四九號及其
ノ附屬書類、別紙乙號ハ案ノ一)

● 彩票發行要綱ニ關スル件
昭和十四年十二月二十一日
總務長官 決
客月十三日附興華北連絡一第六四九號ヲ以テ稟申有之候首題ノ件格別異
議ナキモ本件實施ニ當リテハ日本人ノ彩票購買ハ已ムヲ得ス之ヲ默認ス
ルモノナルヲ以テ特ニ此ノ方面ニ對シ販賣ノ宣傳斡旋等之カ購買慾ヲ刺
戟スルカ如キコトヲキ樣格別ノ御配慮相煩度及通牒候也

外務省東亞局長
大藏省理財局長
陸軍省軍務局長
海軍省軍務局長
宛
政務部長

● 華北連絡部長官 宛
華中連絡部次長
蒙疆連絡部次長
廈門連絡部次長
華北連絡部青島出張所長
漢口派遣員事務所
廣東派遣員事務所
發ニ連絡致置候首題ノ件ニ關シ本月二十一日別紙寫ノ通通牒致置候條御
了知相成度此段及通知候也

華中連絡部次長
蒙疆連絡部次長
廈門連絡部次長
華北連絡部青島出張所長
漢口派遣員事務所
廣東派遣員事務所
宛
政務部長

ニ付豫メ關係方面ノ諒解ヲ御取付相煩度

興華北運經一第六四九號

彩票發行ニ關スル件

昭和十四年十一月十三日

興亞院華北連絡部長官

喜多誠一

興亞院總務長官 柳川平助 殿

北支ノ現状ニ鑑ミ此ノ際彩票制度ヲ認ムルコト妥當ナリト思考セ
ラルルヲ以テ臨時政府ヲシテ別紙記載ノ方針要領ニ依リ之ヲ發行
セシムルコトトシ出來得レハ明年一月ヨリ實施セシムルヤウ指導
致度ニ付右御諒知相成度而シテ日本人ノ購買ハ事實上之ヲ禁止シ
得サルヘキカ故ニ之ヲ默認スルコトトシ只日本人名義ヲ以テスル
代賣ハ場合ニ依リテハ之ヲ避ケシメ蒙羅ノ前例ノ通り支那人タル
名義人ノ保證人タルノ形式ヲ取り事實上代賣セシムルコトト致度



四 一 票ノ價格
 一圓券トシ五條ニ均等分額ス
 五 得彩金
 得彩金ノ總額ハ發行額ノ五割以上トシ
 別表ノ通り等級ヲ設クルモノトス
 六 賣捌機關
 代賣人制度ヲ採用シ賣捌責任額ヲ定ムルモノトス
 代賣人ニ對シテハ右責任額ノ百分ノ七ノ手数料ヲ交付シ且其
 ノ販賣シタル彩票ニシテ當籤シタル場合ニハ所持人ヨリ得彩
 金ノ百分ノ三ヲ報酬トシテ受ケシムルモノトス
 七 本彩票ニ類似ノモノノ新規發行ハ原則トシテ之ヲ認メサルモ
 ノトス

彩票發行要綱案

第一 方針

支那民衆ノ通性ト慣習ニ鑑ミ左記要領ニ依リ彩票ヲ發行シ以テ
 射倖的行爲ノ統制ヲ計リ不堅實ナル計畫ヲ抑止スルト共ニ通貨
 收縮ノ一助トナシ且之ニ依リ利益金ヲ以テ公益ノ増進ニ資スル
 モノトス

第二 要領

- 一、發行者
臨時政府ヲ發行者トシ政府力全責任ヲ負フモノナルコトヲ明
ニス
- 二、發行目的及名稱
利益金ヲ廣ク公益増進ノ資源ニ充當スルモノトシ公益彩票（
假稱）ノ名稱ヲ用フルモノトス
- 三、發行回數及發行額

等級	頭彩	二	三	四	五	六	七	八	九	末字	下頭 聯彩 號上	下二 聯彩 號上	計	得彩金額	數	計
		二、 〇〇〇〇	二、 〇〇〇〇	八〇〇 〇〇	三〇〇 〇〇	一〇〇 〇〇	一五〇 〇〇	一〇〇 〇〇	一五 〇〇	一 五	五〇〇	一〇〇 〇〇		二〇、 〇〇〇〇	四	一〇四、 九三六
		五、 〇〇〇〇								一八、 五三六	四	二、 〇〇〇				二、 〇〇〇
										一、 〇〇〇	四					一八、 五三六
										三、 〇〇〇						三、 〇〇〇
										四、 〇〇〇						四、 〇〇〇
										四、 〇〇〇						四、 〇〇〇
										六、 〇〇〇						六、 〇〇〇
										八、 〇〇〇						八、 〇〇〇
										四、 〇〇〇						四、 〇〇〇
										一〇、 〇〇〇						一〇、 〇〇〇
	頭 彩	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二		四〇、 〇〇〇	二	四〇、 〇〇〇
計																

九昭和十五年二月以降維新政府ノ治安費支辨方ノ件

625

REEL No. A-0284

0361

アジア歴史資料センター

新中央政權樹立以後本件支出ニ要スル財源ニ付テハ新政權樹立前ノ關
稅剩餘ハ之ニ充當セシメザルモノトス

諒解事項

昭和十五年二月以降維新政府治安費支辨方ノ件
興亞院會議決定
昭和十五年二月十日
昭十五年二月以降ニ於ケル維新政府ノ治安費支辨方ニ付テハ治安工
作遂行上遺憾ナキヲ期スル要アルト同政府財政ノ現況トニ鑑ミ當分ノ
間客年八月十六日興亞院會議決定「維新政府ノ治安費支辨方ニ關スル
件」要領同ニ基キ上海海關剩餘金又ハ之ヲ見返トスル借入金ニヨリ毎
月支出スル治安費百萬元ヲ毎月百八十萬元ニ増額支出シ得ル如ク措置
スルモノトス

六、青島特別市公署ニ對スル膠海關關稅剩餘金交付便法實施ニ關スル件

628

REEL No. A-0284

0363

アジア歴史資料センター

昭一五經發第二九四號

昭和十五年二月十六日

興亞院總務長官

華北連絡部長官殿

青島特別市公署ニ對スル膠海關關稅剩餘金
交付便法實施方ノ件

客版二十三日附興華北連經一第八二八號ヲ以テ稟申有之候首題便法實
施方ニ付テハ茲ニ昭一四經發第五六〇號通牒ニ基ク昭和十四年中ニ
ケル同市交付金ニ對スル清算措置トシテ承認相成候條此段及通牒候

561

629

興華北連經一第八二八號

青島特別市公署ニ對スル膠海關關稅剩餘金交付便法實
施ノ件

昭和十四年十二月廿三日

興亞院華北連絡部長官 喜多 誠 一

興亞院總務長官 柳 川 平 助 殿

昭和十四年二月二十五日在青島日本總領事ト中華民國臨時政府ト
ノ間ニ取極メタル關稅剩餘金ノ交付ハ便法ニヨリ實施中ナリシ
モ今回左記便法ニヨリ清算スヘキニ付報告ス

追而本便法ニ於テ膠海關關稅剩餘金ノ算定方法ヲ明カニシタル
ノミニシテ其ノ他ハ概ネ便法ト同一ニシテ臨時政府及青島側
モ之ニ同意シタルニ付申添フ

562

630

青島特別市公署ニ對スル

膠海關々稅剩餘金交付便法

昭和十四年二月二十五日在青島日本總領事ト中華民國臨時政府行政委員會委員長トノ間ニ取り極メタル青島特別市ノ財源補充ニ關スル協定ニ基ク青島特別市ニ對スル關稅剩餘金ノ交付方法ハ關稅預金ノ引出意ノ如クナラサル現況ナルニ鑑ミ青島特別市公署ハ關稅剩餘金ノ預金額中其ノ取得分ヲ引當トシテ左記要領ニヨリ中國聯合準備銀行ヨリ毎月借入ヲ爲スト共ニ橫濱正金銀行ハ中國聯合準備銀行ニ對シ毎月同額ノ別途預金ヲ爲シ本目的ヲ達スルモノトス

昭和十四年九月定メタル假便法ニヨリ一應交付シタル金額ハ本便法ニヨリ速ニ清算スルモノトス

左記

(一) 膠海關關稅剩餘金ノ算定ハ別紙ノ要領ニヨルモノトス

(二) 在北京日本大使館ハ左記ノ計算書類ヲ入手ノ都度速ニ與亞院華北連絡部ニ通報シ華北連絡部ハ之ニ基キ毎月ノ膠海關關稅剩餘金ヲ算定シ臨時政府財政部ニ通報スルモノトス

1 民國二十八年總稅務司經費額(總稅務司署ヨリ通報寫)

2 毎月關稅擔保外債負擔額計算表(總稅務司署ヨリノ通報寫)

3 毎月膠海關經費(膠海關ヨリノ通報寫)

(三) 中華民國臨時政府ハ前項ノ通報ニ接シタル上ハ在青島日本總領事ト中華民國臨時政府行政委員會委員長トノ協定ニ基キ毎月膠海關收入ノ剩餘金中青島特別市公署ニ交付スヘキ金額ヲ確定スルモノトス

(四) 中華民國臨時政府ハ前項ノ金額ヲ確定シタル上ハ青島特別市公署ニ對シ毎月右金額ヲ引當トシテ中國聯合準備銀行ヨリ同額ノ借入ヲ爲シ差支ナキ旨指令スルト共ニ其ノ旨中國聯合準備銀行、及與亞院華北連絡部ニ通報スルモノトス

スヘキ旨ノ念書ヲ同行ニ交附ス
 (四) 膠海關收入預金ヲ預リ居ル橫濱正金銀行青島支店ハ該預金ノ名義
 人ガ預金ノ拂出ヲ受ケントスル場合ハ所在地ノ外務官庶ノ承認ヲ
 受クルコトヲ要ス

華北連絡部ハ之ヲ日本側關係機關ニ通報スルモノトス
 (五) 中國聯合準備銀行ハ前項ノ貸出ヲ爲ス時ハ豫メ橫濱正金銀行青島
 支店ニ連絡シ橫濱正金銀行青島支店ハ同店保管ニ係ル膠海關預金
 ヲ見返トシ中國聯合準備銀行ニ對シ同日附ヲ以テ同額ノ別途預金
 ヲ爲スモノトス
 (六) 青島特別市公署ノ借入金及橫濱正金銀行ノ別途預金ニ對スル利率
 ハ凡テ橫濱正金銀行ガ膠海關關稅收入預金ニ對シ附スル利率ト同
 率トス
 (七) 青島特別市公署ハ後日膠海關關稅剩餘金ヨリ割當額ノ交付ヲ受ケ
 タルトキハ遲滯ナク之ヲ本件借入金ノ返済ニ充當スルモノトス
 (八) 橫濱正金銀行ハ中國聯合準備銀行ガ前項ノ返済ヲ受クルトキハ同
 時ニ右返済額ノ限度ニ於テ(五)項別途預金ノ引出ヲ爲スモノトス
 (九) 華北連絡部長官ハ橫濱正金銀行ニ對シ將來如何ナル事態發生スル
 モ同行ガ(五)項別途預金ノ項入ニ因リ何等ノ支障ヲ受ケサル様措置

昭和十四年度膠海關關稅剩餘金算定要領（昭和十四年十二月二十八日）

一、膠海關々稅剩餘金ハ同海關ノ輸出稅、輸入稅及轉口稅ノ合計ヨリ
外債擔保負擔額、總稅務司署經費負擔額及膠海關經費ノ合計ヲ控
除シタル金額トス

二、前項關稅收入及支出ノ金額ハ在北京日本大使館ノ調査ニヨル

土、維新政府ノ職員ニ對スル臨時賞與金支給方ノ件

636

REEL No. A-0284

0360

アジア歴史資料センター

維新政府ノ職員ニ對スル臨時賞與金支給方ノ件

昭和十五年一月十九日
興亞院會議決定

維新政府解散ニ當リ政府職員ニ對シ概ネ俸給月額ヲ基準トシ總額二百五十萬元ノ範圍内ニ於テ所要ノ臨時賞與金ノ支給方措置スルモノトス
右財源トシテハ差向キ統稅其他政府ノ一般收入ニ依ル餘裕額中ヨリ之ヲ充當支辨スル筈前トシ所要不足額ノ限度ニ於テ之ヲ上海海關關稅剩餘金中ヨリ所辨スルモノトス

二十八年度北支海關稅剩餘金使用方ノ件

638

REEL No. A-0284

0370

アジア歴史資料センター

蒙古聯合自治政府財政ノ現況ニ鑑ミ民國二十八年度北支海關剩餘金中
 ヨリ差當リ五百萬圓ヲ同政府 成紀七三五年 豫算ノ歳入ニ繰入ルルモ
 ノトス但シ本件繰入ニ依リ歳出ノ新規増加ヲ來サシムルコトナク出來
 得ル限リ同年度歳入補填政府債發行額ヲ減少セシムルモノトス

民國二十八年度北支海關剩餘金使用方ノ件

昭和十五年二月十九日
 興亞院會議決定

蒙興發第四四號

二十七年 度關稅剩餘金ノ配當ニ關スル件照會

昭和十五年一月十八日

興亞院蒙疆運給部長官 酒井 隆

興亞院政務部長 鈴木貞一 殿

民國二十七年 度天津海關關稅剩餘金ノ北支蒙疆間ノ配當ニ就テハ種
 々ノ經緯アリシガ結局合計四千六百萬圓ノ剩餘金ヲバ北支ニ四千四
 百萬圓蒙疆ニ二百萬圓ヲ配當スルコトニ決定セラレ蒙疆ニ對スル割
 合著シク不利ニシテ而モ蒙疆政府ノ財政收入不十分ニシテ治安警備
 ニ要スル經費ノ支出困難ナル事情ニ在ルニ鑑ミ現地軍及政府ト共ニ
 研究ノ結果之ガ増加ニ關シ駐蒙軍參謀長ヨリ北支方面軍參謀長ニ對
 シ協議スルコトニ決シ本年一月十日北京ニ於テ會談シタルガ其ノ取

概ハ左記ノ通ニシテ北支側モ之ヲ増加スルノ妥當ナルヲ認メタル次第ナリ

左記

- (1) 二十七年底剩餘金ノ兩者ニ對スル配當割合ハ蒙疆ニ對シ不利ナリシモノト認ム
- 總額ノ一割五分即約六百九十萬圓ヲ配當スベカリシモノト認メラ
- ル
- (2) 然レドモ二十七年分トシテ北支ニ配當スルコトニ決定セラレシ四千四百萬圓ハ既ニ横濱正金銀行支店ヨリ預金ノ振替ヲ完了シアリテ今之ヲ變更スルコトハ事實困難ナリ
- (3) 之レガ對策トシテ將來二十八年分度ノ國稅剩餘金ヲ配當スルニ當リ二十七年分度ニ於テ蒙疆側ノ配當受クベカリシ額即六百九十萬圓ヨリ現實ニ配當受ケタル二百萬圓ヲ控除セル約五百萬圓ヲ蒙疆側ニ優先配當スルヲ適當ト認メ其ノ實現ニ就キ方面軍ニ於テ努力スベ

キコトヲ約セリ

- (4) 二十八年分度剩餘金ヨリ蒙疆側ニ優先配當セル殘額ノ兩者ニ對スル配當ノ割合ニ就テハ別ニ調査研究ノ上協議ス
- (5) 二十八年分度剩餘金ノ處分ニ就テハ支那新中央政府權ノ收入トスル等ノコトヲ豫想セララルルニ付新政權ノ確立前ニ處置スルヲ適當トス
- 右會談ニハ當部小野寺調査官ヲ参加セシメ且ツ其ノ結果ニ就キ華北連絡部トモ連絡シ一月十一日電報ヲ以テ之ガ實現ニ關シ詮議ヲ依頼セル次第ニシテ北支方面軍ヨリモ陸軍省軍務局長宛電報セラレタル
- 管ナリ
- 竊テハ右ノ如キ事情ナルヲ以テ連ニ詮議ノ上之ガ實現方配慮相煩度追テ軍務局長ヨリ駐蒙軍參謀長宛ノ電報ニ依レバ北支ヘノ配當額ハ一千萬圓ナリトアル由ナルモ何等カノ錯誤カト被存ニ付爲念承知セラレ度尙本件ニ就テハ近ク當部小野寺調査官ヲ上京セシメ説明セシムル豫定ニ付申添フ

膠海關關稅剩餘金計算表 (單位元)

月別	(A) 海關總收入	(B) (A)×½×0.1	(C) 控 除 額		(D) 關稅剩餘金	(D)×0.1
			海關經費	外債負擔額		
1	2261068.79	113,058	100,000	458,768.04	1,702,297.75	170,229
2	1428498.78	71,424	100,000	478,933.59	849,565.19	84,956
3	1626165.32	81,308	100,000	647,834.37	878,330.95	87,833
4	1782580.52	89,129	100,000	386,406.18	1,503,174.14	150,317
5	2491148.57	124,557	100,000	435,941.26	1,955,207.31	195,520
6	2178787.31	108,939	100,000	718,747.86	1,562,039.45	156,203
計	11772248.09	588,610	600,000	3,121,651.50	8,050,614.79	805,058

1. 643

575

REEL No. A-0284

0374

アジア歴史資料センター

十三 支那新中央政府成立前ノ支那海關收入處理方針

644

REEL No. A-0284

0375

アジア歴史資料センター

支那新中央政府成立前ノ支那海關收入處理方針

昭和十五年三月十九日
興亞院會議決定

第一 基本方針

- 一、占領地域内各港海關預金中蔣政權ガ外債及賠償金ノ支拂ヲ停止セル以前ノ海關預金及停止セル以後新中央政府成立迄ノ期間ノ海關剩餘金ハ日本側ニ於テ之ヲ處分スルモノトス
- 二、蔣政權ガ外債及賠償金ノ支拂ヲ停止セル以後ノ外債及賠償金分擔額ハ從來通り橫濱正金銀行又ハ臺灣銀行ニ之ヲ積立テ置クモノトス
- 三、外債及賠償金分擔額ハ昭和十三年五月二日附廣田外務大臣發グレイギ一在京英國大使宛公文附屬書三及四ニ規定スル所ニ從ヒ且法幣ノ外貨換算基準ヲ對英一志二片半トシテ之ヲ算定シ法幣又ハ關銀券（法幣ト等價トシテ）ヲ以テ之ヲ積立ツルモノトス

第二 措置要領

- 一、新中央政府ニ對シテハ基本方針ヲ斷行シタルコトヲ諒解セシムルモノトス

574

645

575

トス

- 二、外債及賠償金支拂問題ノ解決ニ至ラサル限り總務司及稅關長ニ對シテハ特ニ通告乃至説明ヲ爲サザルモノトス
- 三、第三國、總稅務司又ハ稅關長ヨリ本件海關預金ニ關シ質問アリタル場合ハ唯外債及賠償金分擔額ハ積立テアリト應酬スルニ止メ剩餘金ノ處分ニ言及セザルモノトス
- 四、海關預金竝ニ之ヲ見返トスル借款等ニ付テハ臨時政府ノ借款ヲ華北政務委員會ニ維新政府ノ借款ヲ新中央政府ニ承継セシムルノ外差當リ現狀ノ證據置クモノトス

646

(備考)

海關收入預託銀行タル橫濱正金銀行又ハ臺灣銀行ニ附シテハ新中央
政府成立前ノ海關收入タルト成立後ノ海關收入タルトヲ問ハズ今後
日本軍司令官又ハ其ノ委任ヲ受ケタル者ノ許可ナクシテ海關預金ノ
支拂ヲ爲スベカラザル旨命令スルコト

十四 支那新中央政府成立後ノ支那海關收入處理方針

648

REEL No. A-0284

0378

アジア歴史資料センター

ニ於テ管理シ差當リ左ノ措置ヲ講ズルモノトス
 〔海關收入ノ預託〕行ハ從來通リトスルコト
 〔外債及賠償金分擔〕ハ新中央政府成立前ノ分ト同様ノ算出方法ニ依リ從來通り極滿正金銀行又ハ臺灣銀行ニ之ヲ積立テ置クコト
 〔新中央政府、蒙古聯合自治政府及華北政務委員會ニ對シテハ從來通り極滿正金銀行ヨリ海關剩餘金ヲ見返トシテ融通ヲ爲スコト

支那新中央政府成立後ノ支那海關收入處理方針

昭和十五年三月十九日
興亞院會議決定

第一方 針

新中央政府成立後ノ支那海關收入ハ新中央政府ニ歸屬セシムルモノトシ之ガ處理ニ關シテハ極力新中央政府ノ發意ニ依リ施策セシメ日本側ニ於テハ新中央政府ヲ保育發展セシムルノ見地ヨリ之ニ協力スルモノトス

第二要 領

一、新中央政府ニ於テ海關ヲ其ノ管理下ニ入ラシムル様施策スル場合ニ於テハ日本側ニ於テモ好意ヲ以テ考慮シ協力スベキモ右ニ關シテハ外債及賠償金支拂問題トノ關聯ヲ充分ニ考慮シ慎重施策セシムル様注意スルモノトス

二、右施策ノ成功セザル間ハ已ムヲ得ズ新中央政府ノ海關收入ヲ日本側

579

諒解事項

北支ノ海關剩餘金中新中央政府ニ歸屬スヘキ分ニ付テハ北支外ニ之ヲ
「トランスファー」スルコト困難ナル現狀ニ鑑ミ當分ノ關北支ノ地域
ニ於テ之ヲ積立テ又ハ使用スル如ク指導スルモノトス

651

REEL No. A-0284

0380

アジア歴史資料センター

第二、支那關稅率改正ニ關スル調査研究關係

652

REEL No. A-0284

0381

アジア歴史資料センター

一、支那關稅率調査ニ關スル件

653

REEL No. A-0284

0302

アジア歴史資料センター

一、右ト對照シ現地側機關ヲシテ大體五月末日迄ヲ一應ノ目途トシ現地案ヲ作成シ興亞院ニ提出セシムルモノトス
 尙中央ト現地トノ聯絡ヲ密ナラシムル爲必要ニ應シ關係各廳係官ヲ現地ニ出張セシムル如ク措置スルモノトス
 一、右現地案ヲ參酌シ錢ニ調査ヲ了セルトコロヲ再檢討ノ上大體六月末日迄ヲ一應ノ目途トシ之カ草案ヲ作成スルモノトス

昨年六月ノ支那關稅率改正ハ暫定的ノモノニシテ其ノ改正程度ニ於テ未ダ十分ナラサルモノアルヲ以テ中支經濟問題處理ニ關スル準備ノ一トシテ此ノ際速カニ現行支那關稅率ノ具體的檢討ヲ行フト共ニ合理的ナル草案ヲ準備作成シ之カ改正ニ備フル爲左記方法ニ依リ調査ヲ進ムルコトト致度
 仰高裁

記

一、興亞院ヲ中心トシ關係各廳協力ノ下ニ大體五月末日迄ヲ一應ノ目途トシ之カ調査ヲ了スルモノトス
 石ハ特別ノ委員會組織ニ依ルコトナク別紙係官ヲ各廳適當者トシ調査、聯絡ノ任ニ當ルモノトス

支那關稅率調査ニ關スル件

昭和十五年三月十五日
總務長官決裁

583

拓務省
對滿事務局

渡部
日下部
書記官

657

582

農 林 省	商 工 省	大 藏 省	海 軍 省	陸 軍 省	外 務 省	興 亞 院
井 出 書 記 官	新 井 書 記 官	宮 田 書 記 官	榎 田 書 記 官	尾 關 書 記 官	岡 大 佐 佐	影 佐 大 佐
					水 野 書 記 官	土 田 書 記 官
					久 保 書 記 官	毛 里 書 記 官
					鹽 澤 調 査 官	白 石 調 査 官

656

ニ支那關稅率改正準備ノ件

658

REEL No. A-0284

0395

アジア歴史資料センター

支那關稅率改正準備ノ件

昭和十四年五月十八日
總務長官決裁

首題ノ件ニ關シテハ、鑒ニ御高裁ヲ仰キ改正草案調査方折角進捗中ニ有
之候處理下諸般ノ情勢ニ鑑ミ、差當リハ暫定の改正準備ヲ進ムルノ要アリ
ト被存候ニ付テハ別紙「支那關稅暫定改正準備要綱案」ノ如ク改正
準備ニ關スル方針ヲ決定スルコトトシ案ノ一ニ依リ關係各廳ノ意見ヲ
照會シタル上案ノ二ニ依リ現地連絡部宛通牒相成可然哉
追テ右要綱案ハ本月十三日中支經濟工作促進委員會商榷關係分科會
ニ附議シ一應各廳關係官ニ協議濟ニ付申添候
仰御高裁

支那關稅率暫定改正準備要綱

（第一編 第一八）
關稅院決定

第一方 針

支那現行關稅率ノ根本的改正ハ可及的速ニ之ガ實現ヲ期スルノ要アリ
ル處理下諸般ノ情勢ニ鑑ミ右ハ尙暫ク專斷ノ推移ニ俟ツコトトシ差
當リハ中支經濟工作ノ必要ヲモ考慮シ左記要領ニ依リ輸入稅率中特
ニ緊急改正ヲ要スト認メラルモノニ付之ガ改正草案ノ作成ヲ急速
準備スルモノトス

第二要 領

一、主トシテ左記ノ如キ稅率ニ付合理的改正ヲ行フコトトスルモ特ニ

アルモノ

ニ、關係各課及現地連絡部ヨリ提出セル調査資料並改正案ヲ基礎トシ
興亞院ニ於テ一應ノ草案ヲ作成シタル上、右草案ヲ中支經濟工作
促進委員會商權關係分科會ニ附議スルモノトス

三、稅率改正實施ノ時期ハ本年六月末ヲ目途トシ同月中旬迄ニ之ガ所
要ノ調査並立案ヲ完了セシムルモノトス

備考

本件調査ニ基ク改正案ノ實行方ニ付テハ別途考究スルモノトス

日滿ヨリノ重要輸入品ニ關シテハ諸外國品トノ關係上慎重檢討ヲ
加フルト共ニ新政權財政ノ確立、支那產業ニ及ホス影響及本邦輸
出力ノ現勢等ニ付十分考慮ヲ拂フモノトス

(一)一九三四年度稅率ニ比シ著シク高率トナリタルモノ

(二)生活必需品ノ稅率ニシテ民生安定上特ニ改正ノ要アルモノ

(三)非日的色彩尙顯著ニシテ貿易ノ伸長ヲ阻碍シアルモノ

四、經濟復興並開發上特ニ引下ノ要アルモノ

(五)滿洲國稅率ニ比シ著シク差異アル爲密輸入ヲ誘發スル惧アルモノ

六、品目ノ分類適正ナラズ又從量、從價ノ權衡ヲ失シ特ニ改正ノ要

三
支
那
關
稅
改
正
案

01 663

REEL No. A-0284

0300

アジア歴史資料センター